



事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
		実施期間	H19 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ・県オリジナル品種等の作付拡大、高収量・省力化技術等の普及により、安定した果樹経営が営まれている。 【これまでの取組】 ・県オリジナル新品種について、市場等を対象とした求評会により評価を獲得するとともに、それに基づいた研修会実施等により生産基盤を整備。 ・ワイン用ぶどう栽培者等を対象とした研修会（ワイン生産アカデミー）を実施し技術向上を支援。 ・新しい化栽培等専用の苗木（フェザー苗）の増産に向けた取組を支援。				
	令和2年度点検結果 （令和元年度実施事業分） ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・県オリジナル新品種は特性に合った市場展開が必要。 ・「クイーンルージュ®」はR3年度に当初予想以上の生産量が見込まれる。 ・ワイン用ぶどう栽培技術指導がより細やかにできるよう地域の指導者のレベルアップが必要。 ・栽培面積の拡大に必要な専用苗木供給力の維持・向上が必要。 </td> <td> ・品種の特性に合った市場展開を進めるとともに、市場に求められる品質確保に向けた技術向上を図る。 ・市場デビューを1年前倒し、R3年度のデビューとして対応する。 ・地域ごとの指導ができるように、技術員等を対象とした研修会を開催する。 ・苗木の需給安定のため引き続き台木生産力の維持・向上を支援する。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・県オリジナル新品種は特性に合った市場展開が必要。 ・「クイーンルージュ®」はR3年度に当初予想以上の生産量が見込まれる。 ・ワイン用ぶどう栽培技術指導がより細やかにできるよう地域の指導者のレベルアップが必要。 ・栽培面積の拡大に必要な専用苗木供給力の維持・向上が必要。
課 題	今後の方向性				
・県オリジナル新品種は特性に合った市場展開が必要。 ・「クイーンルージュ®」はR3年度に当初予想以上の生産量が見込まれる。 ・ワイン用ぶどう栽培技術指導がより細やかにできるよう地域の指導者のレベルアップが必要。 ・栽培面積の拡大に必要な専用苗木供給力の維持・向上が必要。	・品種の特性に合った市場展開を進めるとともに、市場に求められる品質確保に向けた技術向上を図る。 ・市場デビューを1年前倒し、R3年度のデビューとして対応する。 ・地域ごとの指導ができるように、技術員等を対象とした研修会を開催する。 ・苗木の需給安定のため引き続き台木生産力の維持・向上を支援する。				

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓信州新果実市場評価向上事業 ・新品種の評価獲得と栽培技術向上のため、研修会を開催 ・R3年度はぶどう新品種「クイーンルージュ®」が市場デビューを迎えるため、東京都大田市場・大阪市中央市場でトップセールスを実施	 <p>H30知事トップセールスの様子</p>
	✓高品質ワイン用ぶどう産地育成支援事業 ・地域ごとに特色ある産地を育成していけるように現地技術員を対象とした研修会を実施 （栽培初心者向け講習会から徐々にシフト） ・高品質な苗木生産が継続できるようにウイルスフリーの台木を果樹試験場で保存	 <p>ワイン用ぶどう研修会の様子</p>
	✓りんご高密度植・新しい化栽培推進事業 ・苗木不足解消に向けて台木の母株養成の取組に対して補助 ・自然災害防止など生育期間中に発生する課題解決のための施設整備等に対して補助 （信州農業生産力強化対策事業で実施）	 <p>台木の母株ほ場</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)		
前年度繰越			R1年度	R2年度	R3年度										
当初予算			0	0		1	果樹戦略品種等の栽培面積	2,191ha	2,390ha	↑ 2,455ha	↑ 2,626ha	予算額	要求	2,836	
補正予算			0	0									予算案	2,836	
合計(A)			6,732	13,923		2	ワイン用醸造品種の栽培面積	301ha	344ha	↑ 350ha	↑ 360ha	予算額	要求	2,836	
うち一般財源			6,095	13,882									予算案	2,547	
決算額(B)			4,029			3						職員数(人)	1.5	1.5	1.5
職員数(人)			1.5	1.5											
成果指標設定理由		1 県内における栽培状況を把握するための指標 ※目標値:第3期食と農業農村振興計画の目標値から算出 2 県内における栽培状況を把握するための指標 ※目標値:信州ワインバレー構想の目標値から算出													

予算要求からの主な変更点	要求どおり
--------------	-------

事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
1	高密度植・新しい化栽培推進事業	1,120 千円	448 千円	要求 予算案	448 448 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	りんごフェザー苗木増産支援事業	補助金	りんごフェザー苗木の専用台木母株養成ほ場の整備・管理への補助（1者）		

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
2	高品質ワイン用ぶどう産地育成支援事業	375 千円	745 千円	要求 予算案	669 669 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	高品質ワイン用ぶどう産地育成	直接	令和4年以降、産地単位の支援にシフトしていくため、各地域の指導者（技術員、普及指導員等）等を主な対象者とした研修会を開催（4回）。		
2	苗木供給体制支援	直接	ワイン用ぶどうの苗木供給に必要なウイルスフリー原母樹を管理し、供給体制を維持。		

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
3	信州新果実市場評価向上事業	723 千円	664 千円	要求 予算案	1,719 1,719 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	県オリジナル品種の評価向上	直接	県オリジナル新品種の評価向上のため、市場等からの評価獲得とそれをもとにした栽培技術の普及。市場デビューを迎えるクイーンルージュ®はトップセールスを実施（2市場）。		